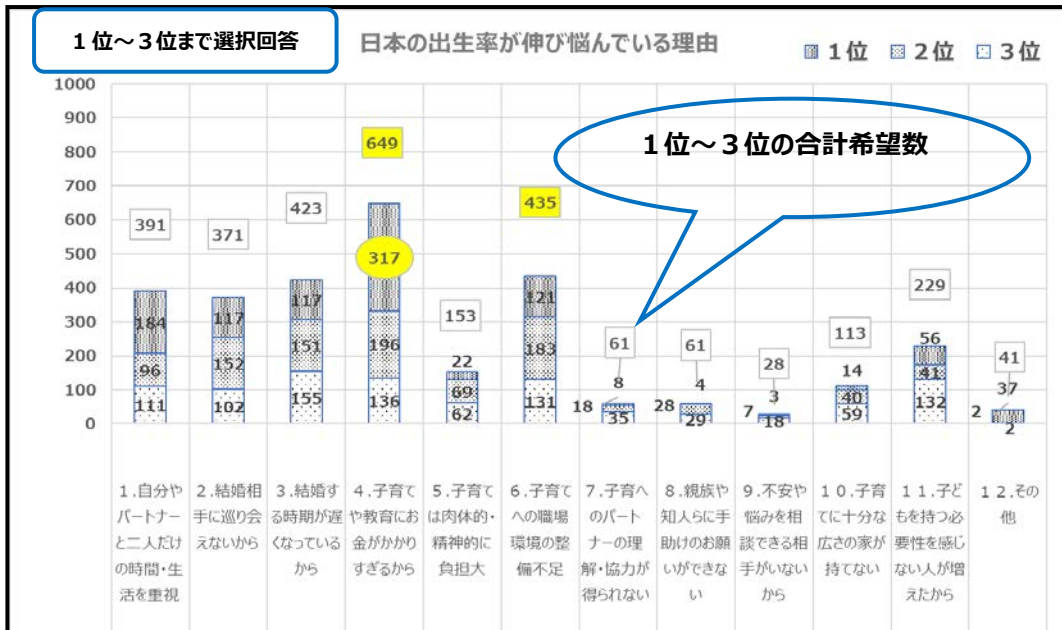


出産・子育てアンケート調査結果（中間報告）

1 日本の出生率が伸び悩んでいる理由として考えられること

- (1) 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と考える方が最も多い（649人）。さらに、1位として選択する方も最も多い（317人）。
- (2) 次に、「働きながら子育てができる職場環境が整っていないから」と考える方が多い（435人）。



2 理想の子どもの数 (Q7) と子どもの人数 (Q5) の比較

子どもを2人持ちたいと望む方が多いが、そのうちの半分以上の方が子どもを持っていない (255人 53.3%)。

		[上段：件数/下段：%]						
		Q5. 子どもの人数						
		全 体	子 ど も は い な い	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上
Q7 理想とする子どもの人数	全 体	1000 100.0	584 58.4	181 18.1	167 16.7	56 5.6	7 0.7	5 0.5
	希望しない	217 100.0	205 94.5	8 3.7	3 1.4	-	1 0.5	-
	1人	80 100.0	47 58.8	32 40.0	-	1 1.3	-	-
	2人	478 100.0	255 53.3	103 21.5	105 22.0	12 2.5	-	3 0.6
	3人	196 100.0	66 33.7	35 17.9	54 27.6	37 18.9	3 1.5	1 0.5
	4人	13 100.0	4 30.8	1 7.7	5 38.5	2 15.4	1 7.7	-
	5人以上	16 100.0	7 43.8	2 12.5	-	4 25.0	2 12.5	1 6.3

■ 子どもいない (希望しない) 205人

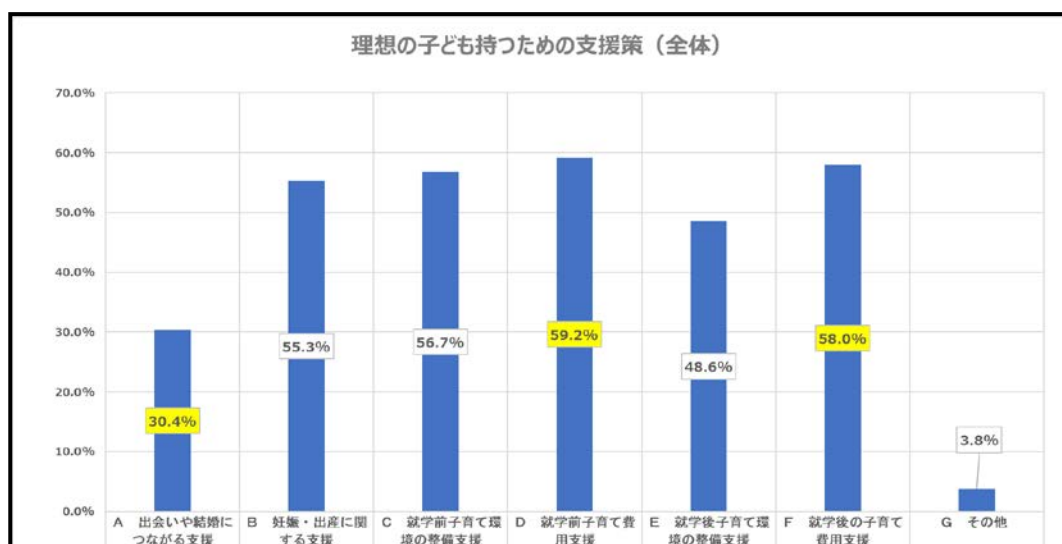
■ 子どもいない (希望している) 379人

□ 子どもいる (希望の数未満) 208人

■ 子どもいる (希望の数以上) 208人

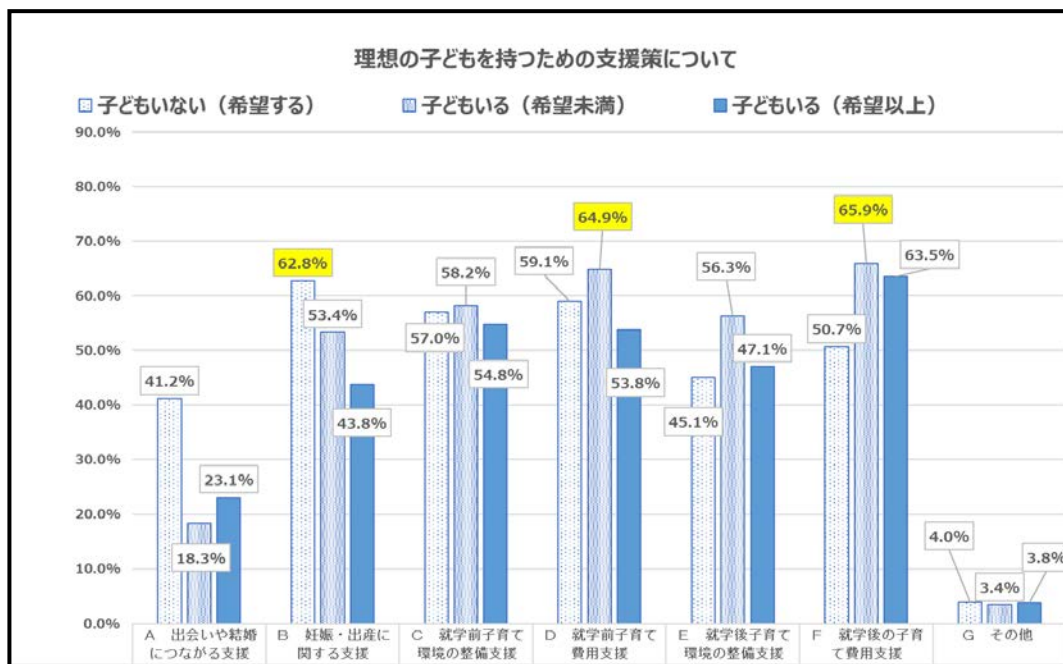
3 理想の子ども数を持つための支援策について (該当すべてを選択回答)

- (1) 全体としては、就学前までの子育て費用支援を希望する方 (59.2%) が最も多く、次に、就学後の子育て費用支援を希望する方 (58.0%) が多い。
- (2) 一方、「出会いや結婚につながる支援」を選択する方は、最も少ない (30.4%)。



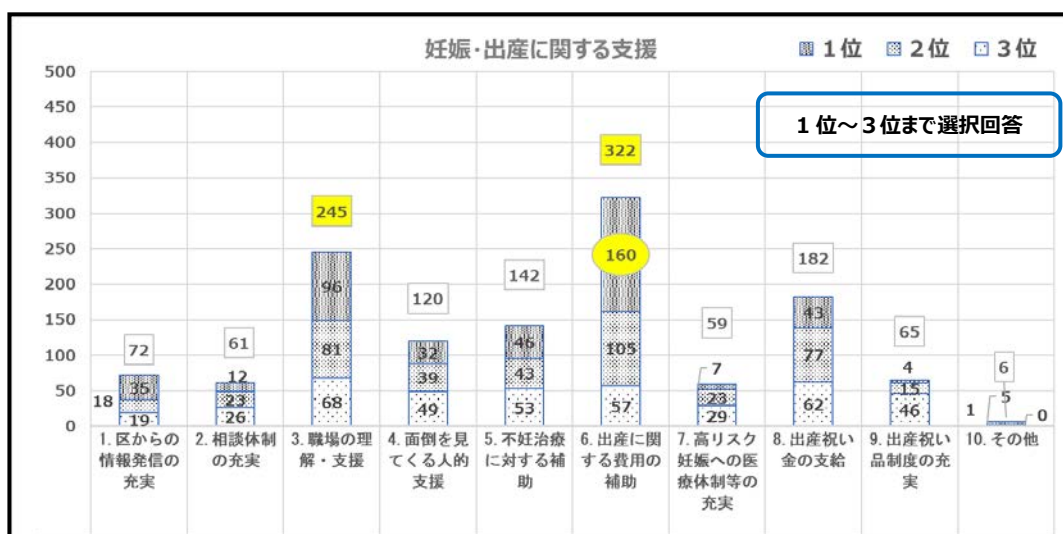
(3) 現在子どもはいるが、子どもを希望している層は、「妊娠・出産に関する支援」を選択する傾向（62.8%）。

(4) 一方、子どもはいる層は、「就学前・後の子育て費用の支援」を選択する傾向がある（就学前64.9% 就学後65.9%）。



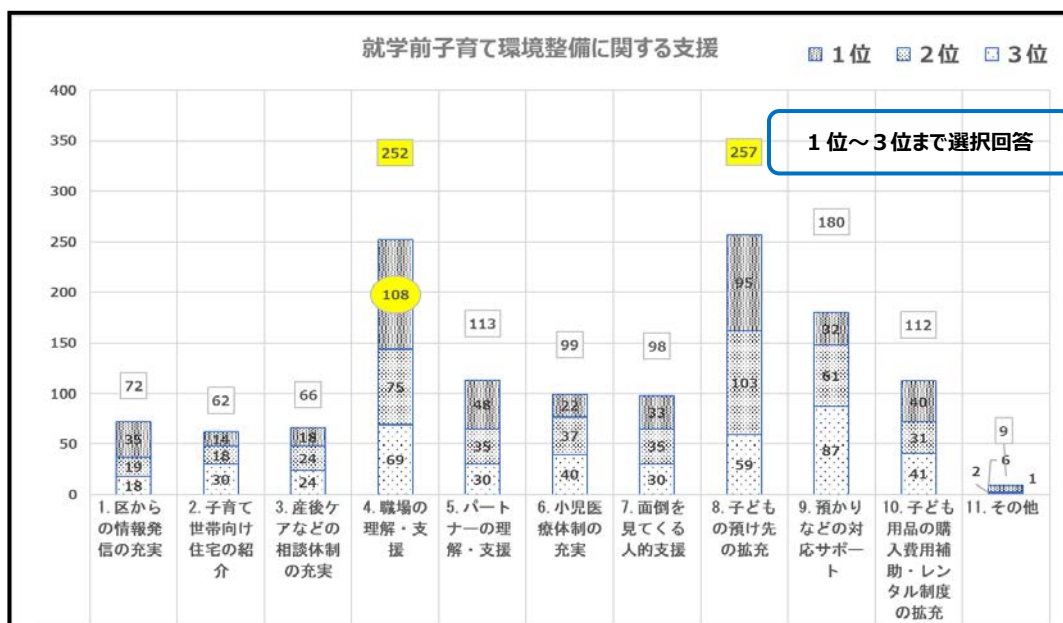
4 「妊娠出産に関する支援」【希望数4位】

「出産に関する費用の補助」希望する方は、全体で最も多く（322人）、その中で1位希望の方も多い（160人）。次に「職場の理解・支援」を希望する方が多い（245人）。



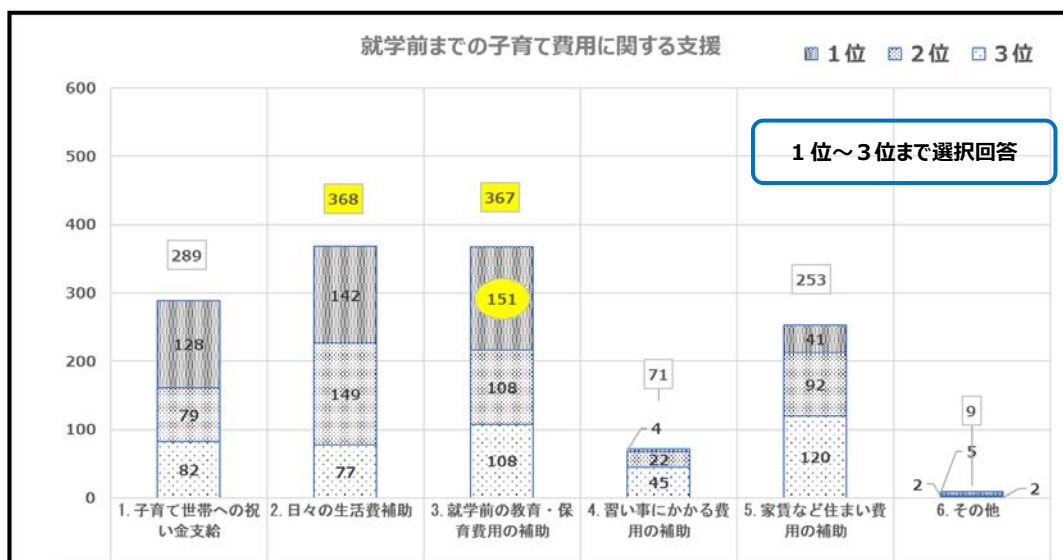
5 「就学前までの子育て環境の整備（保育園や相談体制）などに関する支援」
【希望数3位】

「預け先の拡充」を希望する方（257人）と、「職場の理解・支援」を希望する方（252人）はほぼ同じだが、1位希望としては、「職場の理解・支援」が上回る（108人）。

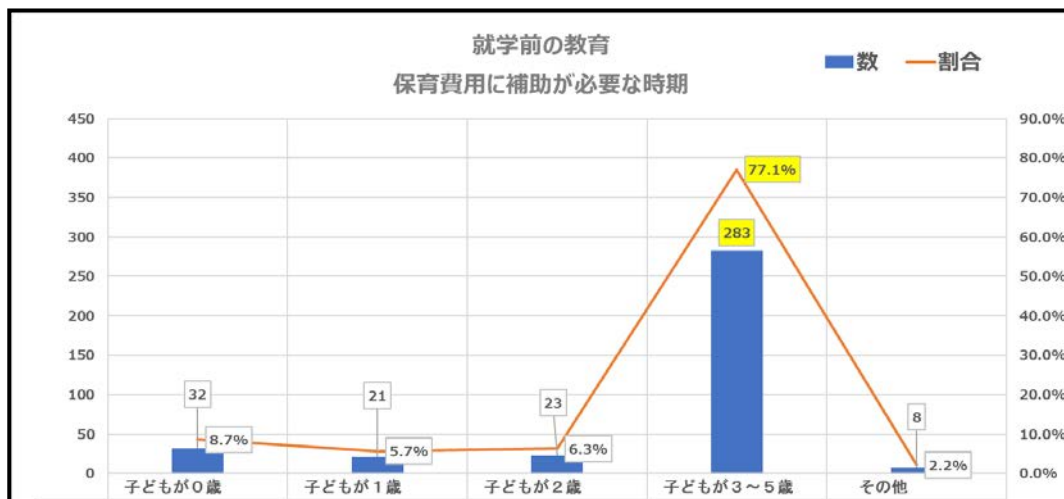


6 「就学前子育て費用に関する支援」 **【希望数1位】**

(1) 「日々の生活費補助」（368人）と「就学前の教育・保育費用補助」（367人）を希望する人はほぼ同じだが、1位希望としては、「就学前の教育・保育費用補助」が上回る（151人）。

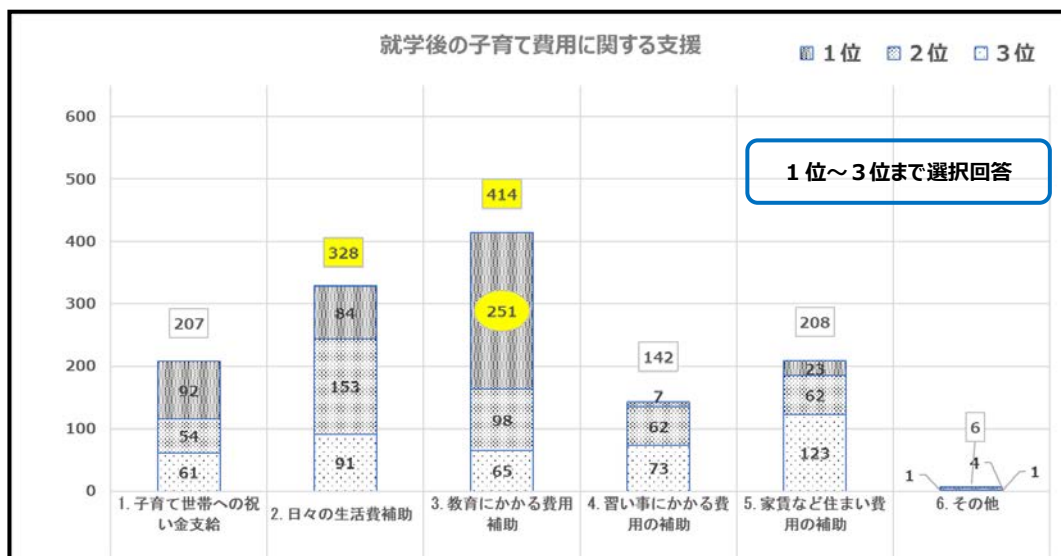


(2) 「就学前の教育・保育費用」の補助が必要な時期を聞いたところ、子どもが3～5歳を希望する方が圧倒的であった。(283人 77.1%)

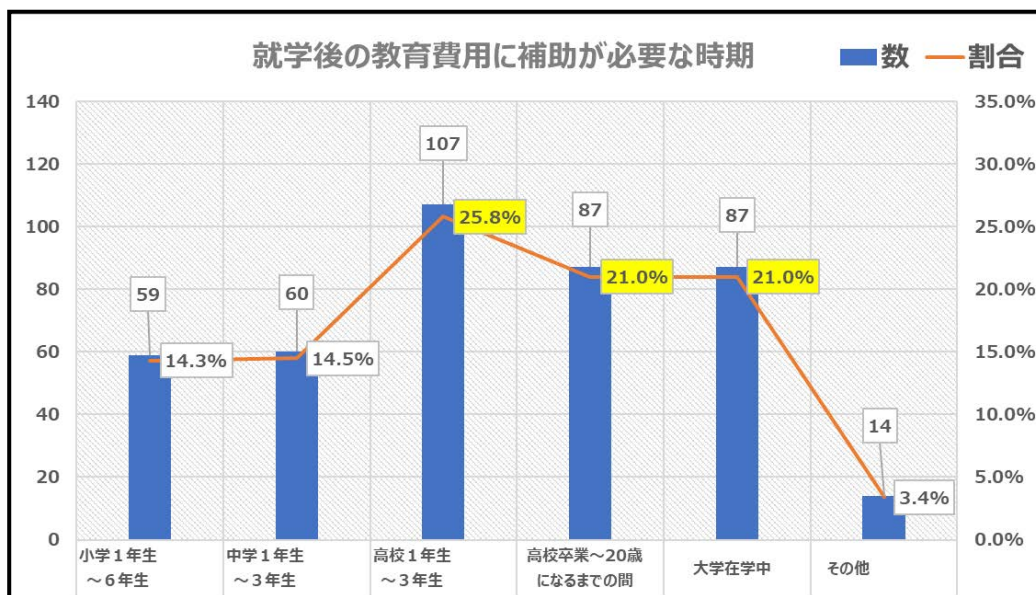


7 「就学後の子育て費用に関する支援」【希望数2位】

(1) 「教育にかかる費用補助」を希望する方が最も多く(414人)、1位希望としても圧倒的に多い(251人)。次に、「日々の生活費の補助」を希望する方が多い(328人)。



(2) 「就学後の教育費用」の補助が必要な時期を聞いたところ、「高校1～3年」が最も多く(25.8%)、次に同率で「高校卒業～20歳になるまでの間」「大学在学中」(21.0%)となっている。



出産・子育てアンケート調査設問

■モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。

アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

このアンケートは、以下の目的で足立区が実施しているものです。

【アンケートの目的】

子育てなどに関し、当事者の方々が具体的にどのような支援を求めているか、また、子育てを経験した方々にはその過程でどのような支援があれば有益だったかをお聞かせいただき、区として優先的に取り組むべき支援策を見極め、実施していくためのアンケートです。

なお、区としましては、子どもを持つか持たないかの選択については、ご本人の価値観や意向が最大限尊重されるべきであると考えており、本アンケートは決して子どもを持つことを前提とする主旨のものではございません。

お忙しいところ恐れ入りますが、区の子育て支援策の策定にご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 回答者属性

(SC1) あなたのお住まいの地域をお選びください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 千代田区 | 2. 中央区 | 3. 港区 | 4. 新宿区 |
| 5. 文京区 | 6. 台東区 | 7. 墨田区 | 8. 江東区 |
| 9. 品川区 | 10. 目黒区 | 11. 大田区 | 12. 世田谷区 |
| 13. 渋谷区 | 14. 中野区 | 15. 杉並区 | 16. 豊島区 |
| 17. 北区 | 18. 荒川区 | 19. 板橋区 | 20. 練馬区 |
| 21. 足立区 | 22. 葛飾区 | 23. 江戸川区 | 24. 23区以外 |

(SC2) あなたの年齢をお選びください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳～24歳 | 3. 25歳～29歳 | 4. 30歳～34歳 |
| 5. 35歳～39歳 | 6. 40歳～44歳 | 7. 45歳～49歳 | 8. 50歳～54歳 |
| 9. 55歳～59歳 | 10. 60歳以上 | | |

(SC3) あなたの性別をお選びください。

- ①男性 ②女性 ③無回答

(Q1) あなたが最後に卒業した（または在学中の）学校をお選びください。

- ①中学校 ②高校 ③短大・高等専門学校 ④大学 ⑤大学院 ⑥専門学校
⑦その他（ ）

(Q2) あなたの現在の就業状況をお選びください。

- ①正社員・公務員 ②派遣・嘱託・契約社員 ③会社経営者・役員 ④自営業・自由業 ⑤専業主婦・主夫
⑥パート・アルバイト ⑦学生 ⑧その他（ ） ⑨働けない・働いていない

(Q3) 配偶者・パートナーの有無をお選びください。

- ①独身である ②離別・死別などにより配偶者はいない ③配偶者・パートナーがいる

(Q3で「③配偶者・パートナーがいる」と回答した方へ)

(Q3-1) あなたの家庭における就労状況は？

- ①共働き
②配偶者・パートナーのみ働いている
③自分だけが働いている
④自分も配偶者・パートナーも働いていない
⑤その他（ ）

(Q4) 世帯全体の平均月収（手取り）をお選びください。※1万円未満は四捨五入してご回答下さい。

- ①10万円未満 ②10～20万円 ③21～30万円 ④31～35万円 ⑤36～40万円
⑥41～45万円 ⑦46～50万円 ⑧51～100万円未満 ⑨100万円以上 ⑩収入は無い

ここからは、あなたご自身のことについてお聞かせください。

(Q7) 理想とする子どもの人数は何人ですか。

- ①希望しない
- ②1人
- ③2人
- ④3人
- ⑤4人
- ⑥5人以上

▶ Q5「子どもはいない」かつ、Q7「希望しない」と回答した方 のみ

(Q8) 差し支えなければ、子どもを希望しない理由について可能な範囲でご記入ください（自由記載）。

※「子どもはいない」かつ「希望しない」と回答した方 のみ はコレでアンケート終了です

▶ Q5「子どもはいない」かつ、Q7「希望しない」と回答した方 以外

(Q9) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。(あてはまるもの全て)

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった(理想とする子どもの人数を持つことにつながった)と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- A 出合いや結婚につながる支援
- B 妊娠・出産に関する支援
- C 就学前までの子育て環境の整備(保育園や相談体制など)に関する支援
- D 就学前までの子育て費用に関する支援
- E 就学後の子育て環境の整備(学童保育室や相談体制など)に関する支援
- F 就学後の子育て費用に関する支援
- G その他()

▶Q9で「A 出会いや結婚につながる支援」を選んだ方

(Q10) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった(理想とする子どもの人数を持つことにつながった)と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①出会いや結婚相手が見つかるマッチング支援(婚活イベント、婚活サイト等の充実)
- ②安定した収入につながる仕事の紹介
- ③新婚世帯向け住宅の紹介
- ④新婚世帯への祝い金支給 →Q12へ
- ⑤結婚後の生活費補助 →Q11へ
- ⑥結婚後の家賃(敷金・礼金含む)など住まい費用の補助 →Q11へ
- ⑦婚活に役立つセミナーの開催(交際術・マナー・ファッションなど)
- ⑧その他()

1位 2位 3位

(Q11) 子どもを持つことを考えると、特に補助が必要と考える時期はいつですか。

(チェックはそれぞれ一つ)

Q10で「⑤結婚後の生活費補助」と回答した方

①結婚したとき	②結婚したときから子どもが生まれるまでの間	③子どもが生まれたとき
④子どもが生まれてから小学校入学までの間	⑤子どもが就学中の間	

Q10で「⑥結婚後の家賃（敷金・礼金含む）など住まい費用の補助」と回答した方

①結婚したとき	②結婚したときから子どもが生まれるまでの間	③子どもが生まれたとき
④子どもが生まれてから小学校入学までの間	⑤子どもが就学中の間	

(Q12) 最低いくら程度の補助を必要としたいですか、金額をご記入ください。

(例：月額3千円程度 / 一時金として5万円程度など)

Q10で「④新婚世帯への祝い金支給（一時金として）」と回答した方

※ 金額記述

Q10で「⑤結婚後の生活費補助」と回答した方

※ 金額記述

Q10で「⑥結婚後の家賃（敷金・礼金含む）など住まい費用の補助」と回答した方

※ 金額記述

▶Q9で「B 妊娠・出産に関する支援」を選んだ方

(Q13) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった(理想とする子どもの人数を持つことにつながった)と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①妊娠・出産に関する区からの情報発信の充実
- ②妊娠・出産の不安な気持ちや悩みを聞いてくれる相談体制の充実
- ③安心して妊娠・出産ができることにつながる職場の理解・支援
- ④親や知り合いなど自分に代わって子どもの面倒を見てくる人的支援
- ⑤不妊治療に対する補助
- ⑥出産に関する費用の補助
- ⑦リスクの高い妊娠に対する医療体制等の充実
- ⑧出産祝い金の支給
- ⑨出産祝い品(家電等)制度の充実
- ⑩その他 ()

→Q14へ

1位 2位 3位

(Q14) 最低いくら程度の補助を必要としたいですか、金額をご記入ください。
(例：一時金として5万円程度など)

Q13で「⑧出産祝い金の支給」と回答した方

※金額記述

▶Q9で「C 就学前までの子育て環境の整備（保育園や相談体制など）に関する支援」を選んだ方

(Q15) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった（理想とする子どもの人数を持つことにつながった）と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①子育て支援に関する区からの情報発信の充実
- ②子育て世帯向け住宅の紹介
- ③産後ケアなどの子育て支援や子育ての悩みなどを聞いてくれる相談体制の充実
- ④育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援
- ⑤子育てに関するパートナーの理解・支援
- ⑥小児医療体制の充実（急な病気時にも対応してくれる医療）
- ⑦親や知り合いなど自分に代わって子どもの面倒を見てくる人的支援
- ⑧保育園など子どもの預け先の拡充
- ⑨急な事態にも預かりなどの対応をしてもらえるサポート
- ⑩子ども用品（ベビーベッドやベビーカー等）の購入費用補助・レンタル制度の拡充
- ⑪その他（

1位 2位 3位

▶Q9で「D 就学前までの子育て費用に関する支援」を選んだ方

(Q16) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった(理想とする子どもの人数を持つことにつながった)と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①子育て世帯への祝い金支給 →Q17へ
- ②日々の生活費補助(食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など) →Q17へ
- ③就学前の教育・保育費用の補助 →Q17へ
- ④習い事にかかる費用の補助 →Q17へ
- ⑤家賃(敷金・礼金含む)など住まい費用の補助 →Q17へ
- ⑥その他 ()

1位 2位 3位

(Q17) 子どもを持つことを考えると、特に補助が必要と考える時期はいつですか。

(チェックはそれぞれ一つ)

Q16で「①子育て世帯への祝い金支給」と回答した方

①子どもが0歳	②子どもが1歳	③子どもが2歳
④子どもが3～5歳	⑤その他	

Q16で「②日々の生活費補助（食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など）」と回答した方

①子どもが0歳	②子どもが1歳	③子どもが2歳
④子どもが3～5歳	⑤その他	

Q16で「③就学前の教育・保育費用の補助」と回答した方

①子どもが0歳	②子どもが1歳	③子どもが2歳
④子どもが3～5歳	⑤その他	

Q16で「④習い事にかかる費用の補助」と回答した方

①子どもが0歳	②子どもが1歳	③子どもが2歳
④子どもが3～5歳	⑤その他	

Q16で「⑤家賃（敷金・礼金含む）など住まい費用の補助」と回答した方

①子どもが0歳	②子どもが1歳	③子どもが2歳
④子どもが3～5歳	⑤その他	

(Q18) 最低いくら程度の補助を必要としたいですか、金額をご記入ください。

(例：月額3千円程度 / 一時金として5万円程度など)

Q16で「①子育て世帯への祝い金支給（一時金として）」と回答した方

※ 金額記述

Q16で「②日々の生活費補助（食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など）」と回答した方

※ 金額記述

Q16で「③就学前の教育・保育費用の補助」と回答した方

※ 金額記述

Q16で「④習い事にかかる費用の補助」と回答した方

※ 金額記述

Q16で「⑤家賃（敷金・礼金含む）など住まい費用の補助」と回答した方

※ 金額記述

▶Q9で「E 就学後の子育て環境の整備（学童保育室や相談体制など）に関する支援」を選んだ方

（Q19）どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
（今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか）。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった（理想とする子どもの人数を持つことにつながった）と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①子育て支援に関する区からの情報発信の充実
- ②子育て世帯向け住宅の紹介
- ③子育ての不安な気持ちや悩みを聞いてくれる相談体制の充実
- ④子育てに関するパートナーの理解・支援
- ⑤小児医療体制の充実（急な病気時にも対応してくれる医療）
- ⑥急な用事等でも、自分に代わって子どもの面倒を見てくる人的サポート
- ⑦学童保育室数の増加
- ⑧学童保育室での内容の充実化
- ⑨その他（）

1位 2位 3位

▶Q9で「F 就学後の子育て費用に関する支援」を選んだ方

(Q20) どのような支援があれば、あなたが理想とする子どもの人数を持つことにつながると考えますか
(今の子どもの人数が理想の人数であるという方は、どのような支援が子育てに有益だと考えますか)。
具体的な内容について、最大3個まで選び、重視する順番に番号を回答してください。

※子育てが終わっているという方は、「当時、どのような支援があれば有益だった(理想とする子どもの人数を持つことにつながった)と考えますか」という質問に読み替えてお答えください。

- ①子育て世帯への祝い金支給 →Q21へ
- ②日々の生活費補助(食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など) →Q21へ
- ③教育(小学校・中学校・高校・大学)にかかる費用補助 →Q21へ
- ④塾や習い事にかかる費用補助 →Q21へ
- ⑤家賃(敷金・礼金含む)など住まい費用の補助 →Q21へ
- ⑥その他 ()

1位 2位 3位

(Q21) 子どもを持つことを考えると、特に補助が必要と考える時期はいつですか。

(チェックはそれぞれ一つ)

Q20で「①子育て世帯への祝い金支給」と回答した方

①子どもが小学1年生～6年生	②子どもが中学1年生～3年生	③子どもが高校1年生～3年生
④子どもが高校卒業～20歳になるまでの間	⑤子どもが大学在学中	⑥その他

Q20で「②日々の生活費補助(食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など)」と回答した方

①子どもが小学1年生～6年生	②子どもが中学1年生～3年生	③子どもが高校1年生～3年生
④子どもが高校卒業～20歳になるまでの間	⑤子どもが大学在学中	⑥その他

Q20で「③教育(小学校・中学校・高校・大学)にかかる費用補助」と回答した方

①子どもが小学1年生～6年生	②子どもが中学1年生～3年生	③子どもが高校1年生～3年生
④子どもが高校卒業～20歳になるまでの間	⑤子どもが大学在学中	⑥その他

Q20で「④塾や習い事にかかる費用補助」と回答した方

①子どもが小学1年生～6年生	②子どもが中学1年生～3年生	③子どもが高校1年生～3年生
④子どもが高校卒業～20歳になるまでの間	⑤子どもが大学在学中	⑥その他

Q20で「⑤家賃(敷金・礼金含む)など住まい費用の補助」と回答した方

①子どもが小学1年生～6年生	②子どもが中学1年生～3年生	③子どもが高校1年生～3年生
④子どもが高校卒業～20歳になるまでの間	⑤子どもが大学在学中	⑥その他

(Q22) 最低いくら程度の補助を必要としたいですか、金額をご記入ください。

(例: 月額3千円程度 / 一時金として5万円程度など)

Q20で「①子育て世帯への祝い金支給(一時金として)」と回答した方

※ 金額記述

Q20で「②日々の生活費補助(食費・衣類・服飾雑貨費等の日常生活にかかる費用など)」と回答した方

※ 金額記述

Q20で「③教育(小学校・中学校・高校・大学)に係る費用補助」と回答した方

※ 金額記述

Q20で「④塾や習い事にかかる費用の補助」と回答した方

※ 金額記述

Q20で「⑤家賃(敷金・礼金含む)など住まい費用の補助」と回答した方

※ 金額記述